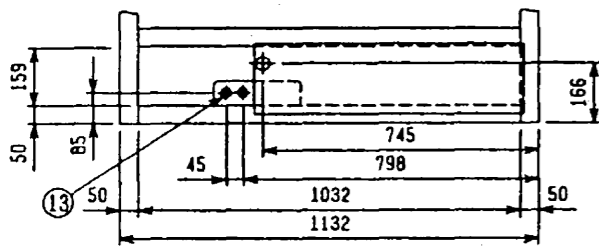
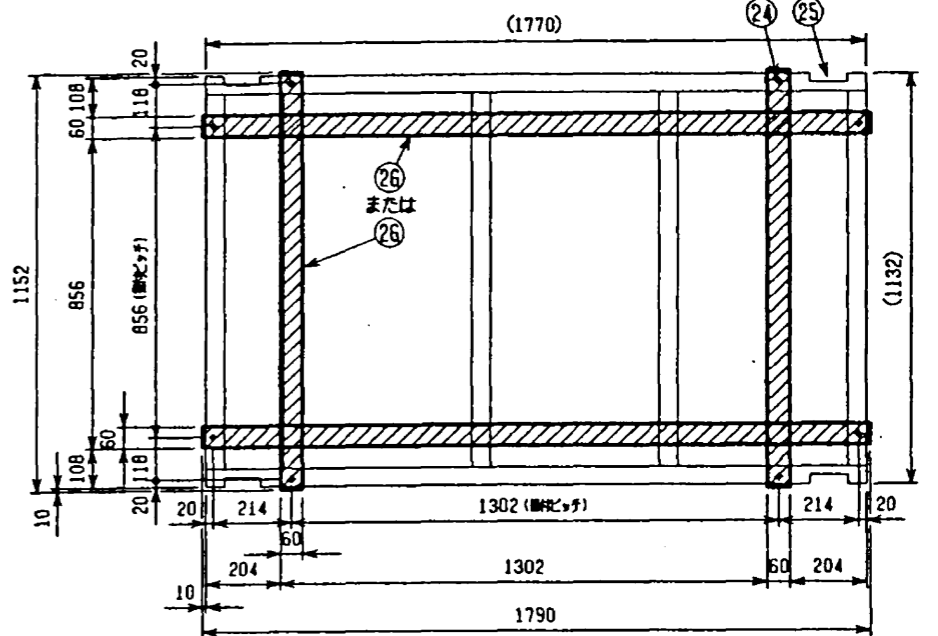
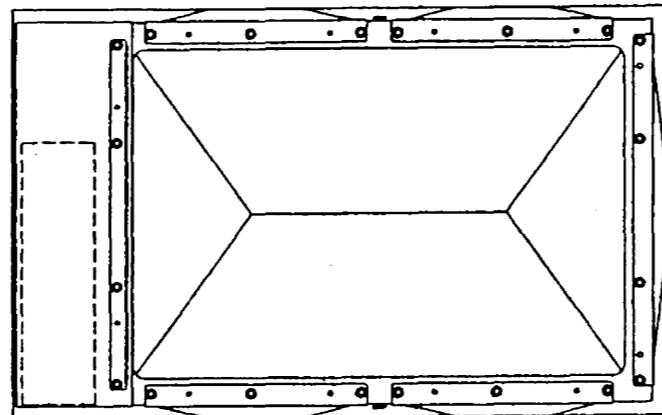
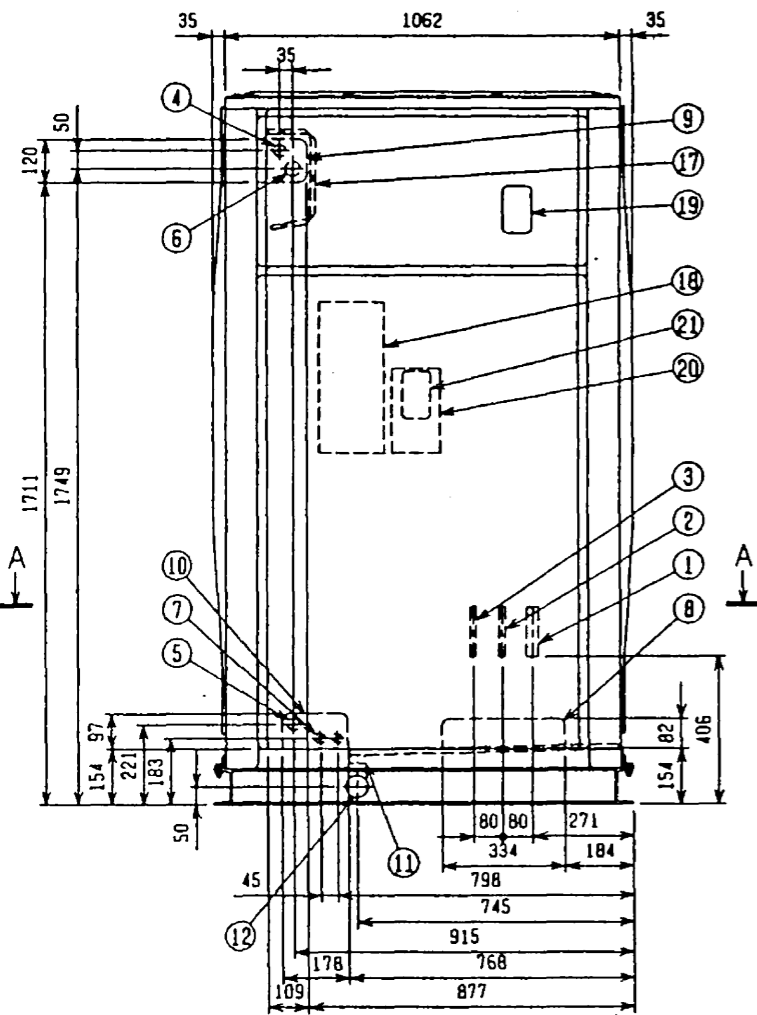


- ① 室外・室内ユニット冷媒配管（ガス） --
φ31.75（ロー付）：付属T管で室外・室内に分岐
- ② 室外ユニット冷媒配管（液） -- φ15.88（ロー付）
- ③ 室内ユニット冷媒配管（液） -- φ15.88（ロー付）
- ④ 給水口 -- 1B
- ⑤ 排水口 -- 1B
- ⑥ オーバーフロー -- 1 1/4B
- ⑦ 電線穴 -- 2-φ27
- ⑧ 配管穴（ノックアウト）
- ⑨ 給水管、オーバーフロー管穴（ノックアウト）
- ⑩ 排水管、電線穴
- ⑪ ドレン出口 -- 1B
- ⑫ ドレン管穴 -- φ60
- ⑬ 電線穴 -- 2-φ27
- ⑭ 電線穴（ノックアウト） -- 2-φ27（左右共）
- ⑮ 配管穴（ノックアウト） -- 左右共
- ⑯ 保護板（給水・オーバーフロー管管内配管時取り外す）
- ⑰ 蓋板
- ⑱ 水位計窓
- ⑳ タイマーキット（別売部品）
- ㉑ タイマーキット蓋（ノックアウト）
- ㉒ 番熱槽
- ㉓ ベース
- ㉔ 基礎ボルト穴（φ-φ18穴）
- ㉕ 搬入時吊り下げ用溝
- ㉖ 基礎（据付架台）（現場手配）



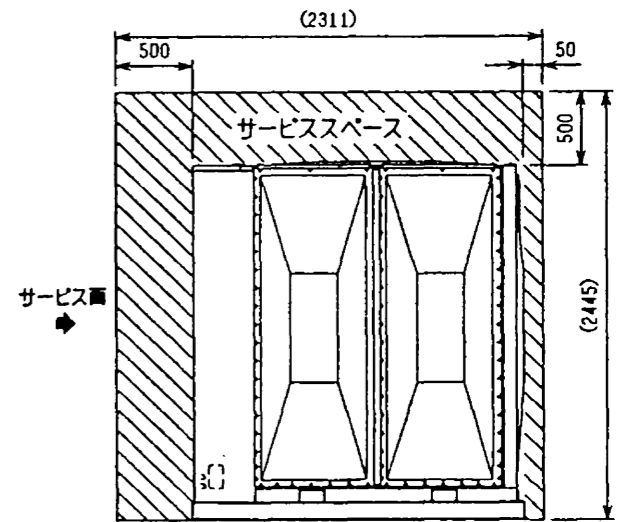
断面A-A



断面B-B

番熱槽全容積：2.16㎡（有効容積：1.7㎡）
番熱槽内寸法：高さ1751×幅1342×奥行918

- 注1. 基礎（据付架台）は、少なくとも断面B-Bの斜線部分を確保してください。これ以上広い基礎とする場合は、下取出し時の冷媒配管、電線管が施工できる寸法としてください。
- 注2. 番熱槽ユニットの運転質量は、約2200kgとなりますので、それに充分耐えられる基礎（据付架台）としてください。据付架台設置の場合は、少なくとも基礎ボルトの真下を支柱受けてください。
- 注3. 濡れて困るものの上にユニットを据付けないでください。外気条件によってはユニット下部から結露水がたれます。結露水がたれて問題となる場合は、排水処理、集中ドレンパン（別売）設置等の処理を現場で実施してください。結露しても熱源流量は正面から見て問題ありません。
- 注4. 番熱槽への給水は、必ず日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。
- 注5. 番熱槽は給水後、若干影らむ場合があります。
- 注6. 下図に示すサービススペースを確保してください。



改変 CHANGE

	MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION		STY-P17M-A (-BS, -BSG)		
	DIM. IN **		作成日 DATE	02 - 7 - 2	承認 APPROVED
	尺度 SCALE		作成 DRAWN		USER
	≠ (NTS)		検査 CHECKED		FILE
		設計 DESIGNED		W649150	
				PAGE /	